

各位

清秋の候、平素は児童館事業にご理解ご協力誠にありがとうございます。
緊急事態宣言が解除され、又児童館事業を再開することが出来ましたが、乳幼児親子さんには、
度々のお休みて大変ご迷惑をおかけしました。

今後は又、講師の方々のお力もお借りして、皆さんに寄り添いながら魅力ある取り組みが出来
るよう頑張っておりますので、地域の皆さんも是非お越し下さい。

この間、児童館の在り方、事業の仕方も問われてきたように思います。

地域交流や取り組みによって、子育て家庭の支援や子どもを見守るネットワークが出来ると、そ
れが出来ない……。オンライン会議や交流もいいですが、やはり、日々関わるからドラマも生まれます。
夏休みの出来事です。学童クラブ児童にとっても、毎年出来ていた行事や取り組みが中止になり、
楽しみは半減したと思いますが、異年齢の子ども達も毎日朝から集まり大賑わいでした。

基本的には好きな事をして過ごしますが、時間によっては宿題をしたり、学年毎に昼食を取った
りと各自が静かに過ごす時があります。

その時間に、夏休みが終われば退会するという五年生の女の子が「あること」を毎日していました。
それは……。自分ももう夏休みが終われば辞めるからと、学童クラブメンバー百十五人一人ひとり
に手紙を書いていたのです。来る日も来る日も黙々とです。

最後に、折る作業は私も手伝いました。その子との関係やメッセージの内容を教えてくださいました。
一緒に遊んで楽しかったことや、あまり遊んであげられなかったのをごめんね……。喧嘩してきつく
言つてごめんね……。等お詫びの言葉や、その子の頑張りが、自信を持ってやっただけ等エールを送る
言葉等、又、休会中の人には、あまり会えなかったけど学童は楽しいよ又元気に来てね……。体調
を崩していた子にはお大事にしてね等ねぎらいの言葉も添えられていました。

職員が子ども達ひとり一人を見ているかのように、百十五人、一人ひとりにです。
とても根気のいる凄作業でした。

そして四年生には、五年生の自分は居なくなるけれど、下の子を見ていつて欲しい、困ったら学校
で出会った時に相談してくれたらいいよと……。アフターフォローもばっちりです！

そして、館長にも手紙が来ました。最後の日にみんなに渡す時間を作って欲しいと……。勿論その
つもりでした。しっかりとレモニーをしてやりたい！と思えました。

帰りの会で、堂々と後輩たちの前で話をしました。

嬉しいこともあったけど、嫌な事もあった。怒ってしまったてごめん等、

そして、小さい子は大きい子を見てあげないといけな、

自分がいなくなつた後は残った五年生と四年生に任せると、

自分の思いをしっかりと皆に伝えてくれました。

それぞれが、彼女からの手紙を手にして嬉しそうでした。

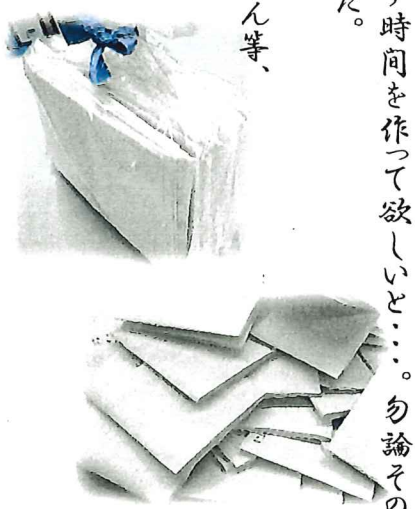
こんなことをしてくれた子は開館以来初めてです。

素晴らしい引き際にウルウルしながら皆が大拍手でした！

又、子どもに教えられた日でした。

ちなみにその子は……。自由来館でもひよこり様子を見に来てくれます(笑)

児童館の良さはこういうところなんですよね！



十一月号のおたよりに添えて

社会福祉法人積慶園

京都市嵯峨野児童館

館長

飯吉昌子